

自然のながで豊かに育つ子どもたち

その⑬

矢部郷自然観察会 代表 藤吉勇治

「グルグル…」夜の森の中に不気味に響く生きものの声。この地域では「モマ」と呼ばれている動物、ムササビだ。以前、山都町の森には数多く生息していたそうだが、近年その数を減らしている。矢部郷自然観察会では、数年前に「森の忍者！ ムササビウォッチング」と題してムササビ観察会を実施している。

ムササビは高い樹木のある林や森の中に住み、体の皮膜を使って空中を滑空し、巣と餌場などの間を樹木伝いに移動しながら生活している。矢部郷自然観察会が毎回観察場所に行っているのは、山都町の御岳地区にある男成神社だ。観察会を行う11月頃は、ムササビの繁殖期が始まる時期であるためムササビを観察できる機会が多い。子どもたちは、見たこともない不思議な動物に会うために、胸をワクワクさせながら家族と一緒に参加してくる。

ムササビは日没後、しばらくすると巣穴から顔を出し、辺りの様子を窺いながら巣穴から出てきて木の上の方へ登っていく。そして、目標の木を見定めると空中に飛び出しバツと皮膜を広げて滑空するのだ。男成神社では、毎回ムササビの滑空を見ることができたのだが、昨年はなかなか姿が見えず、観察会終了間際ようやくムササビを一頭だけ観察できた。一瞬の出会いだったが、子どもたちはムササビとの出会いに感激し、その姿を鮮明に心に留めていた。



平成21年10月31日「ムササビ観察会」の様子

山都町の南側に連なる九州中央山地には、ムササビの仲間である希少野生動物の「二ホンモンガ（大きさは手のひらに乗るくらい）が生息している。二ホンモンガも空中を滑空する。ムササビやモンガが生きていける自然環境がこの山都町に残されていることは、未来への貴重な財産である。自然と触れ合い、自然の中で遊ぶ子どもたちの姿がなくならないことを祈りながら、今後も地域の豊かな自然の中で自然観察会を続けることを新年の決意とした。

季節のうた

▼馬見原酔山会
友逝きてバイク一石落の花
霜柱空にはうすき下弦かな
父老いて高き処に残る柚子
▼やまなみの会
難壇の如く桐田の畦に咲く彼岸花の朱秋日に映ゆる
身回りにマイナス要因一つなく有難う様の生活の
日々を
広々と休耕している畑にはあかざの花が足踏み場なく
二つ三つトンネル抜けて紅葉狩
猪鬣をかけし跡とや覗き見る
太陽の色たくはへし柿届く
▼通潤句会
去年の灰流すしきたり大旦
み佛にあづけし余生初日記
▼清和短歌会
五十年を経たる華燭を眺めては当時の生計を夫と語らふ
温もりを抱き抱かれ床籠もり秋の夜永がは 蓑虫もよ
明日へとゆつくり流れる季節の中カラタチの実は 平川竜
く色づく 原田恵美

2月の当番医

2月6日 伴 病院 (電話72-0029)
2月13日 野 田 医院 (電話72-0307)
2月20日 矢部広域病院 (電話72-1121)
2月27日 瀬 戸 病院 (電話75-0111)

山都町の人

(平成22年12月31日現在)

男	8,760人 (-10)
女	9,372人 (-9)
計	18,132人 (-19)
世帯	6,764戸 (-5)

※()は前月比
※最高齢は105歳(女性1人)
※1月1日～12月31日の出生届数
96人(うち12月は7人)
※1月1日～12月31日の死亡届数
304人(うち12月は24人)

災害救援車が配備されました。



レプリカキーを受け取る岡本副会長(右)。後ろが配備された災害救援車。

日本赤十字社熊本県支部の平成22年度災害救援車の贈呈式が12月24日、山都町社会福祉協議会本部で行われ、災害救援車1台が山都町社会福祉協議会へ贈呈されました。日本赤十字社熊本県支部では、昭和62年から災害救援車配備事業を実施し、県下の市町村に順次配備されてきました。配置された車両は、災害時の救護資材や救援物資の輸送、近隣市町村との相互支援などに活躍します。贈呈式では、同支部石田総務課長から、町社協の岡本副会長へレプリカキーの贈呈がありました。

書道



和光教室書道部の片山久男さん(須原 作)

結婚したご夫婦を紹介します

☆男性Uさん&女性Vさん☆

①お互いの第一印象は？

U..かわいい感じの人がいる..

V..穏やかで誠実そう

②現在の心境は？

U..家族を持った責任感と優しさをひしひしワクワクと感じています。

V..自分に合う人に出会えて幸せ。旅立つ前のようなドキドキワクワク感。沢山の新しい経験、ちよびり不安もあるけど協力し合って仲良く楽しみたいと思っています。

③まだ参加していない独身者(男性・女性)へひと言

U..参加すべきだ。こういった婚活は、今日ですぐに相手を見つけた手段としてメジャーなものになっていきます。

V..出会うことが大切。お互いの気持ちが近い人に出会うと、スムーズに事が運ぶんだなあと実感しています。気負わずに足を運んでみてください。

12月☆クリスマス交流会紹介

クリスマスイブの前日23日(木)、町内にて交流会を行いました。男女9名ずつ合わせて18名の参加いただきました。最初から、フレンドリーに皆さん楽しんでる様子で、懇親会後には男性がリードして、町内の散策を行いました。今回の交流会に繋がることが期待しつつ、これからの動きに注目していきます！

『YOU&YOU通信』

Vol.44

球磨地域から研修に来られました

11月24日(水)に後継者対策事業についての研修地として山都町に球磨地域から市町村関係職員、球磨地域農業協同組合関係団体職員、球磨地域振興局職員など27名が来町されました。研修事項としては、結婚対策への取組みについて、「YOU&YOU」の活動内容や活動を行う上での重要なポイント・問題点などをこれまでのYOU&YOUの経験や踏まえ、学んだことをお話ししました。その後、質疑の時間を設け、それぞれの町から多くの質問を受けました。YOU&YOUにおいても直面した問題ばかりで、一つ一つの問題をクリアするまでにどのように行ってきたか、実績を交え詳しく説明いたしました。どの町においても、同じ目的達成のために試行錯誤を重ね、尽力されている現場の様子があがりました。今研修会において他町の取組みなどどうかがい、結婚対策事業について取り組むことの必要性を実感し、YOU&YOUについてもこれからの活動の糧となる研修会となりました。



●お問い合わせ先
山都町役場 浜町事務所 総務課(成瀬・吉田)
【専用電話】
0901956519589
【専用アドレス】
marriage.support@gov.kumamoto-yanato.jp
【専用アドレス携帯】
you_and_you@doconet.ne.jp

編集後記

明けましておめでとうございませう。新年早々、厳しい寒さと雪に見舞われた山都町でした。そんな折、あの方が写真を持って企画振興課へ。そこには、正月帰省されたお孫さんと一緒に作った、とても大きな雪だるまが写っていました。誌面の都合上、今回は掲載できませんでしたが、そのような、みなさんからの情報を今後ぜひ掲載していきたいと考えています。どんな情報でも構いません。企画振興課(72-11214)までご一報ください。
本年も「広報やまと」をよろしく願います。(F)